

スポーツ少年団 Q & A

Q 少年団には何歳から何歳までの方が入れますか？

A 加入は原則として小学生以上となっています。それ以上であれば、スポーツが得意な子どもだけでなく、運動が苦手な子どもでも男女問わず大歓迎です。もちろん、中学生や高校生の加入も可能です。現在、中学生以上の団員は約11万人。その中には、スポーツを楽しみながら団員のリーダーとして活動し、将来の指導者を目指す人もいます。

Q どんどこで練習するの？

A 近くの学校のグラウンドや体育館で練習を行います。活動日によっては、近隣の団体と合同練習をするため場所を変更する場合がありますが、試合などが無い限り基本的に同じ場所で行います。もし、放課後や土曜日、または日曜日にそれらの場所でスポーツをしている団体を見かけたら、それがスポーツ少年団かもしれません。

Q どんな人々が団を支えているのですか？

A 基本的に、地域のボランティアによって支えられています。単位スポーツ少年団の組織構成としては、団員、保護者・地域住民からなる「育成母集団」、指導者、年少団員をまとめ、指導者の補助的な役割もする団員（リーダー）の4つに分けられます。多くの人々が、それぞれの立場で活動の運営や支援を行っています。

Q どんな人が指導者になっているのですか？

A 指導者には、実技を指導する人、団の運営を担当する人、地域との協力を図る人などさまざまなタイプがあります。指導には、地域に住むスポーツ指導者やスポーツ少年団出身者、団員の保護者などがあたっています。それぞれの団には、日本体育協会が定める講習会を受講した公認指導者が1名以上いるので安心して活動することができます。

スポーツ少年団の活動への参加者募集!!

スポーツ少年団への加入については、それぞれ地域で活動している単位スポーツ少年団へ所属することになります。地域でどのような単位スポーツ少年団が活動しているかについては、お住まいの市区町村スポーツ少年団事務局までお問い合わせいただくか、スポーツ少年団のホームページをご覧ください。

<http://www.japan-sports.or.jp/club>

●お問い合わせ先

財団法人 日本体育協会日本スポーツ少年団

〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館内

TEL 03-3481-2222 FAX 03-3481-2291 E-mail jjsa@japan-sports.or.jp

スポーツは一生のトモダチ

「スポーツ少年団」は、日本最大の青少年スポーツ団体です。



川口能活 [静岡県天間サッカースポーツ少年団出身]



杉山祥子 [静岡県小山町スポーツ少年団出身]



唐川侑己 [千葉県成田市スポーツ少年団出身]



JVL 承認 NECW-2009-J020



財団法人 日本体育協会日本スポーツ少年団

全国90万人の子どもたちが、 スポーツを通して 「心と体の成長」を体感しています

現在スポーツ少年団は、地域の協力によって全国各地に約3万6千団存在しています。
その中で、子どもたちは、60個以上もあるスポーツを楽しみ、
その活動を通して成長する過程で必要な多くのことを学び、経験しているのです。

たくさんの
スポーツから種目を
選べるのも魅力!!

日本スポーツ少年団概要

設立 昭和37年
団数 約3万6千団
団員数 約90万人
種目 60個以上

2012年に創設50周年を迎える日本最大の青少年スポーツ育成組織です。

- ・軟式野球
- ・剣道
- ・卓球
- ・野球
- ・スケート
- ・相撲
- ・スポーツチャンバラ
- ・リーダー会等
- ・フェンシング
- ・ボクシング
- ・太鼓
- ・カーリング
- ・ウェイトリフティング
- ・サッカー
- ・空手道
- ・少林寺拳法
- ・スキー
- ・ドッジボール
- ・ホッケー
- ・アイスホッケー
- ・弓道
- ・ボウリング
- ・カヌー
- ・山岳
- ・ティーボール
- ・複合種目*
- ・柔道
- ・ソフトテニス
- ・体操
- ・合気道
- ・レスリング
- ・ミニバレーボール
- ・バトントワリング
- ・銃剣道
- ・綱引
- ・ボート
- ・ローラースケート
- ・バレーボール
- ・ソフトボール
- ・陸上競技
- ・テニス
- ・ハンドボール
- ・馬術
- ・日本拳法
- ・ゴルフ
- ・セーリング
- ・ソフトバレーボール
- ・ゲートボール
- ・鼓笛
- ・バスケットボール
- ・バドミントン
- ・水泳
- ・ラグビーフットボール
- ・なぎなた
- ・トランポリン
- ・フットベースボール
- ・野外活動
- ・アーチェリー
- ・エアロビック
- ・武術太極拳
- ・自転車

*複合種目とは数種類のスポーツを並行して行ったり、季節ごとに変えたりして活動を行う形態のことです。

生涯学習

「競う」だけでなく
「楽しむスポーツ」
が目標です

成長が著しい子ども時代には、まず体を動かすことの楽しさや喜びを知ることが大切です。基礎的な運動能力や運動習慣を身につけ、生涯にわたってスポーツを楽しむ基盤を作りたいと願っています。



情操教育

仲間との集団行動が
「心の成長」につながります

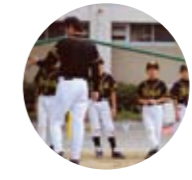
スポーツだけでなく、野外活動や社会活動、文化活動など多岐にわたる活動を通して、子どもは協調性や創造性を養い、社会のルールや思いやりの心を学んでいきます。これらが「心の成長」を促します。



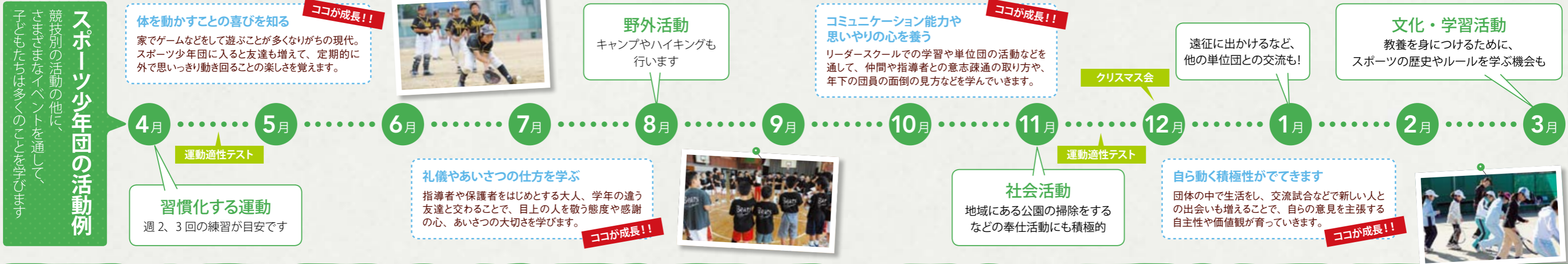
地域とのつながり

「地域のキズナ」のなかで
子どもを支援する組織です

スポーツ少年団は、全国21万人のボランティアの手によって支えられています。このスポーツを通じたネットワークの広がり、地域内の交流を活発にし、よりよい地域作りにも繋がっていきます。



※この活動例が全てのスポーツ少年団で実施されているとは限りません



※全国的なイベントとして、8月には全国スポーツ少年大会や競技別交流大会（軟式野球、ホッケー、サッカー）、シニア・リーダースクール、ドイツや中国の青少年との国際交流、3月には競技別交流大会（剣道、バレーボール）などが開催されます